広報 かじき

No.234
昭和50年
1

発行／加治木町役場・編集／総務課文書係

■メモ　人口／20,127　男／9,480　女／10,647　世帯／6,484　（49年12月1日現在）

職員に最後の あいさつ

曽木前町長の退任式

大変お世話になりました

職員にあいさつする曽木町長

職員に見送られ公職を去る曽木町長

昭和二十二年五月初当選から、六期二十四年間にもおよぶ永い間当町の首長として町政一筋に尽くしてこられた曽木隆輝前町長(七〇)の退任式は、任期最後の日となった十二月九日午後三時から、町福祉センターで町役場職員、団体関係者などが参列して行われました。

退任のあいさつに立った曽木町長は「実に永い間、大変お世話になりました。いま振り返って見ると本当に気が狂いそうで苦しいことも、首をつりたいような気持も一瞬はあったことは事実だ。毎日毎日すべてに耐えながら、なんとか活路を見出したいという希望に燃え努力をして今日まできたことは、町民の深いご理解と議会はじめ各団体の指導、とくに職員各位の協力の賜であり、深くお礼を申し上げたい。加治木町は、これからだ。一応軌道に乗ったようだがなかなか容易ならぬ問題が山積している。新しい町長が、新しい気持で、新しい考え方で今後の町政を運用していくと思う。皆の力で永遠の発展と町民のかぎりない幸せをたかめるために協力して推し進めて行くことを切にお願いしたい…　元気で大いに楽しく人生を過ごしてほしい。働くことと遊ぶことをよく区別して、町のために町民のために精心するよう最後のお礼と、お詫びと、お願いをいたしたい……。」とあいさつしました。

町議会議長のあいさつのあと、職員を代表して岩元房友収入役が送辞を述べました。シーンとした大ホールに曽木町政二十四年間の業績を讃え、その退任を惜しむことばだけが大きく響いていました。

「…職員一同、力を合わせて町長さんの意志を受け継ぎ、まじめに務めることを誓います。どうか健康に十分留意され、余生を楽しく過ごされんことを心からお祈りします…。」

前半は時折、うなずいて送辞をうけていた曽木町長も最後のあたりで万感、胸につまるものがあったのかハンカチを取り出して二度三度、目がしらを押さえる場面もありました。

町では、永年のご苦労に対して感謝の意を表するため、花束と町長の思い出の写真を集めた記念アルバムを贈りました。また町職員組合からも記念品の目録が曽木町長に贈られました。

このあと曽木町長は、ホール入口の階段から、センター前の道路まで、並んで見送る職員の拍手と「ご苦労さま」の声に送られ、長かった公職に別れを告げました。

「本当に長い間、ご苦労さまでした」

感謝の決議

臨時町議会

町議会は十二月十四日、臨時町議会を開き、曽木町長の退任に対し感謝の決議を行ったあと、議長から感謝状と記念品の目録を贈りました。

17議案を審議

一般会計補正予算 2億1千8百万円

＝12月議会から＝

定例第四回町議会は、昨年の十二月二十日から二十六日までの七日間、町議事堂で開かれ、欠員中の町監査委員の選任や人事院勧告による町職員の給与の改正、町長など町三役の給与および町議員の報酬の改正、これに伴う補正予算など十七の議案を審議しました。

その結果、一件を修正可決、ほかはいずれも原案どおり承認、可決しました。

重度心身障害者の医療費を補助

町内に住む重度心身障害者の医療費を助成する条例を新しく制定しました。

この制度は、児童福祉法または精神薄弱者福祉法で重度心身障害者と判定された障害者や重度心身障害者福祉法による一級または二級に該当する障害者などに対して医療費の助成を行うものです。

ただし、法律などの規定で他の制度の対象者とされている人は、その制度が優先します。

町長や議員などの給与報酬アップ

町長や助役、収入役、教育長の給与と町議員の報酬の額を引上げようとするもので、町特別職報酬等審議会の答申に基づき、昭和四十九年四月から適用することに関係条例の改正を決めました。改正額は次のとおりです。（）内は現行

なお、町職員の給与関係条例の改正も行なわれました。

▽町長＝三十五万円（二十六万円）▽助役＝二十六万円（十九万五千円）▽収入役＝二十四万二千円（十八万円）▽教育長＝二十四万二千円）▽議長＝十一万五千円（八万五千円）▽副議長＝九万一千円（六万七千円）▽常任委員長八万円（五万九千円）▽議員＝七万三千円（五万四千円）

一般会計の予算補正 半分は給与関係費用

今回の一般会計の補正予算は二億一千八百五十九万七千円が追加されました。このため四十九年の一般会計の予算総額は十三億六千七百九万六千円となりました。

この補正予算の約半分にあたる一億五百余万円は、人事院勧告による町職員の給与ベースアップ、および町長など三役と町議員の給与、報酬額改正による経費となっています。

なお、これらのほかに次のようなものが予算補正されました。

▽老人福祉費一千六百八十万二千円（老人医療費ほか）▽じんかい処理費二千三百十五万六千円（西部衛生処理組合負担金）▽農地費四百五十二万七千円（岩原地区かんがい排水事業ほか）▽常備消防費一千三百二十九万九千円（西部消防組合分賦金）▽公債費一千六百四十六万五千円（町の借金＝起債の償還金・元金と利子）▽水産商工費百五十万円（漁具資材保全倉庫設置事業補助）▽失業対策事業費（道路整備＝保健衛生）一千二百四十二万九千円▽道路橋梁災害復旧費三百五十八万二千円

町監査委員に前田為雄氏を選任

欠員となっていた町監査委員に前田為雄氏（モ二）＝諏訪町＝を選任することに同意しました。

ごあいさつ

町長　東　国雄

町民のみなさま、明けましておめでとうございます。

昭和五十年の輝かしい新春を迎えて、みなさまのご健康とご繁栄をこころからお祝い申し上げます

昨年は台風も襲来しましたが、さいわいにして当町には大きな災害もなく、かような意味では良い一年でありましたが、いっぽう国の施策によります国民生活の安定ということで、総需要抑制、これに伴い公共事業の繰りのべ、削減などの措置で、町政内外ともに厳しい一年であったようです。

このような中で「優良町」としての本町の全国表彰受賞、町民待望の町営運動場の完成や中野小の柁城小への統合、任期満了による前曽木町長の退任など一喜一憂の一年でもありました。

ここに新しい年を迎えるに当りまして、新年のごあいさつとともに、町長就任のごあいさつを申し上げたいと思います。

まず、はじめに過去通算六期、二十四年ちかく町政に尽力され大きな成果を残された曽木前町長の永年のご苦労とご功績に対し、深い敬意を表したいと思います。

さて、このたびの町長選挙に当りましては、まったく突然の立候補であり、無我無中で選挙に望んだわけですが、みなさまがたのご支援をいただき幸いに当選をさせていただきました。感激でいっぱいでございます。

私は、この感激を忘れることなく肝に銘じ、いまだかつてない町政内外の難局に対処するとともに町政伸展のために、私の微力を捧げたいと固く決意いたしております。

もとより浅学非才、微力でございますため、任重く道遠しのうらみがありますが、町民のみなさまはもとより各関係機関のご支援とご協力を切にお願い申し上げます

また、町政がマンネリに陥ることのないよう、私は私なりの構想をもって教育、農業、商工業、道路、福祉、広域行政など山積した課題を町民みなさまがたの声を基に、町議会や関係機関ともよく相談して勇気をもって町政に当りたいと思います。

最後にみなさまがたに何かとご心配をおかけしましたことをお詫びして、ごあいさつといたします

国民年金へ加入

新成人の義務の一つ

一月十五日は「成人の日」です二十歳になると、その日から成人として多くの権利が与えられ、また義務が課せられますが、国民年金に加入することもその一つです

わが国では、国民は必ずいずれかの年金制度に加入しなければならないことになっています。

そのため厚生年金などの被用者年金制度の加入者やその配偶者、また、昼間部の大学生を除いた二十歳から五十九歳までの人たちは必ず、国民年金に加入しなければなりません。

ところが二十歳になったばかりの若い人たちは、とかく年金に対する関心が低く、年金といっても実際にもらえるのは遠い将来のことだからといって、真剣に考えようとしない傾向があります。

今は元気で働いていても、やがては年をとって働けなくなる時がやってきます。それに生活環境が改善され、医学が進歩するにしたがって、国民の平均寿命が著しく伸び、老後を考え、準備しておくことは今日非常に大切なこととなっています。

二十歳になって国民年金に加入しなければならない人で、まだ加入をしていない人は、今すぐ役場の窓口で加入手続きをしましょう

また、昼間部の大学生でも二十歳以上であれば、希望者は加入できますので、この機会に加入することをおすすめします。

農業センサスの調査にご協力を

「一九七五年農業センサス」が全国の農家五百四十一万戸および農業事業体などを対象に、二月一日を期して行われます。

この調査は昭和二十五年以降、五年ごとに行われ、わが国農業の最も基本的な統計調査として、その調査結果は国、県、郡町村をはじめ各方面で広く農業振興や地域発展計画などの基礎資料として活用されています。

調査…調査員が農家を訪問し、面接して聞きとります。

内容…①世帯員の状況
②農業労働
③土地および土地利用
④農業用機械・施設
⑤農業生産物など

皆さま方のご理解と、ご協力をお願いします。

家庭をあたたかく社会に思いやりを

「家庭をあたたかく、社会に思いやりを」のテーマで年末から一月十五日まで「冬の青少年を育てる運動」が進められています。

町でも十二月七日、青少年問題協議会を開き、冬の青少年育成について話し合いました。町内各機関の代表者から、現況と問題点について発表があり、熱心な討議と意見がかわされたあと①町内の各機関、団体などで、それぞれ工夫をこらして冬の青少年健全育成と事故や非行の防止に努めること、②県の実施要領に基き、地域ぐるみで働きかけることを申し合わせました。

あたたかい家庭をつくる

①家族ぐるみの楽しい年末年始にしましょう。

②自分からすすんで、あいさつをしましょう。

③人にめいわくをかけないようにしましょう。

④規則正しい生活で、毎日をすごしましょう。

非行を防止しよう

1よい本やよい映画を見ましょう。

2シンナー・接着剤や睡眠薬などを乱用しないようにしましょう。

3不健全な場所への出入りや夜遊びをしないようにしましょう。

4飲酒、喫煙をしないようにしましょう。

事故を防止しよう

①交通ルールを守りましょう。

②旅行、登山などに万全の準備と細心の注意をしましょう。

社会に思いやりを

1めぐまれない子どもや老人に愛の手をさしのべましょう。

2施設にいる子どもたちにもあたたかい正月を迎えさせましょう。

3帰郷しない青少年に、あたたかい家族のふんいきを、あたえましょう。

たばこは町内の店で買いましょう

山茶花や白木のままの丘の墓　白尾建樹
枯草の中に蟷螂枯れきれず　横山江南
冬が来て乗れぬ日のあり車椅子　田代俊一
枯野へ絶叫「家内ですよろしく」　川崎鉄雄
綿虫や落書褪せし壁に沿ふ　井之上透山
落葉にもその木の香朝の庭　恒吉斗南
政界も家計もせわし年の暮　三浦大鵬
草庵や笹鳴きそめし塀の内　伊丹靖博
鐘楼に半月仰ぐ秋の暮　鶴田　耕
かすかにも時雨るる今宵早寝せむ　松永愛子
消して書く吾が行く道の柿落葉　中山待香
売出しの赤旗ばたばた街師走　林　玄洋
雲上人こまかくゆれ秋陽片翼　永田禾陽

話題あれこれ

知事賞に中元さん 県図画作品展入賞

加治木中では第二十五回・県図画作品展覧会に同校一年の中元淳子さんら八人の作品が入賞、十二月初め入賞者に賞状とタテが、同じく大量入賞の同校にも学校賞として賞状とタテが贈られました。

▽知事賞＝中元淳子（一年）

▽特選＝上原浩（三年）長久裕子（一年）宝蔵洋子（一年）

▽入選＝扇園弘行（一年）岩下清美（二年）坂本孝史（三年）上猶あけみ（三年）

生徒のみなさん入賞おめでとう

図書貸出し一万人め 河野さんらに記念品

町立図書館では図書の館外貸出しを行い、子どもたちや一般のかたに利用されていますが、十二月十九日に図書の貸出し一万人めに達しました。

幸運の一万人めは柁城小四年の河野豊子ちゃんで「どくろの城」の本を借りたのがキッカケ。早速隈原・図書館長から「これからもたくさん本を読んでください」と心ばかりの賞品が贈られました。

昨年度は三月末で九千三百三十七人でしたが、本年度は早くも十二月で一万人に達したものです。図書館では読書奨励の意味で、今後も続けたいと話しています。

なお前後賞の九、九九九人めには吉峯桂君（柁小二）一万一人めは美坂康仁君（柁小四）でした。

子どもたちの前で ケーキ作りを実演

加治木、姶良、蒲生など三町の菓子製造組合員十五人（代表、石山太陽）は十二月十四日、木田にある南九州病院の筋ジス病棟を訪ね、おみやげの加治木まんじゅうやショートケーキをプレゼント。

お菓子屋さんたちはクリスマスが近づくのでデコレーションケーキつくりの実演を披ろうすることが訪問の目的。てぎわよく、きれいに豪華にできあがる三つのケーキに子どもたちは「ワーッおいしそうだなー」

やがて紛装したサンタクロースのおじさんから「元気でがんばれよ」と激励をうけ、おみやげのみかんとともに待ちに待ったケーキを「いただきまーす」お菓子屋の善意でひと足はやいクリスマス。

十五・六年ぶりに 野菜などの品評会

町と農協の主催による「農村畜産物品評会」は十二月十七・十八日の両日、農協会議室で行われ、みかんや白菜、大根など百点が展示されました。十五・六年ぶりの品評会で出品物も大量出品はなく量より質の時代を感じさせました

今回は①農村の生産意欲を取戻す②消費者にも立派なものが町内で生産できるを知ってもらうと同時に新鮮なものを提供するなどの目的で行われたものです。

農協では両日、生活用品や食糧品、庭木などの露店市を開き、沢山の買物客で終日にぎわいました

▽みかん＝㊙山口波人、岩崎偉▽野菜荷姿型＝㊙山下藤男▽野菜㊙堂森すみ子▽たけのこ＝㊙岩元みつ子▽しいたけ＝㊙重広三男

和田・下楠園さんの牛 県肉畜共進会一等賞

十二月十七日から鹿児島市で開かれた第二十四回県肉畜共進会で郡から選抜されて出品していた町内木田の和田豊吉さん＝牡牛一頭下楠園正昭さん＝去勢牛二頭がいずれも一等賞に入賞しました。

当町からは、この共進会に毎年出品しており、これらの人たちの肥育技術は共進会関係者の間で高く評価されています。

下楠園さんは今、導入時の腹づくりと出荷前の肉質改善のために干草増産に努めたいとして計画をすすめています。

今後ますます厳しくなる経営を少しでも改善して、所得の向上を図るため、日常の管理や制度資金の活用、飼料栽培の増産など手がける必要があります。

子どもたちに図書 や卓球台など贈る

町内にある南九州病院の筋ジス病棟の子どもたちは、役場職員一同からクリスマス・プレゼントの児童図書五十冊を贈られ、とても喜んでいます。贈呈式で吐合美智恵さん（二〇）が「心づくしのこの本を大事にして学習に役立てます。役場の皆さん有難う」とお礼を述べました。なお母子寮にも卓球台など一式が贈られ、二つの施設関係者からも大変感謝されています。

婦人会だより

あけまして
おめでとうございます。

会員のみなさまがたのご協力のおかげで、旧年中は本当にすばらしい年でした。

本年も、わたくしたち一同できるかぎりの努力をいたすつもりです。どうぞよろしくお願い申上げます。＝町三役・常任委員一同＝

町婦人会も新たな年を迎えて、いま一層、その歩みをすすめてまいりたいと存じます。

まず婦人会活動の一つとして、昨年度から提唱されてきました古紙回収、その目的をもう一度考えてみたいと思います。

▽…いま「限られた地球の資源を大切にしましょう」とさかんにさけばれていますが、私たちの身の回りにもムダに捨てている資源が沢山あります。毎日のように新聞に折込んである広告紙、その他の古紙もその一つです。私たちの家庭の中に眠っている資源再活用の最も身近な手段として、古紙を回収しましょう。

▽…回収した古紙を売却したお金は積立てておいて、私たち町民が現在、最も必要を感じている公民館建設のための基金にしたい。

このような一石二鳥の目的をもったものです。会員のみなさん、町民の皆さんのご協力をぜひ、お願いしたいと存じます。

「成人の日」おめでとう。新しい年に成人となられましたみなさま、本当におめでとうございます。

まず、はじめにあなたがたをこれまで育ててくださったご両親をはじめ、周囲のすべてのかたがたに「ありがとうございました」と感謝の心を捧げてほしいと思います。これからは大人として、社会の中に生きていかなければなりません。たとえいかなる事があろうとも、人の心を傷つけることなく自分自身の信念にもとづいて行動してください。そして生きて来てよかったーと思える人生を歩いてほしいと思います。

ご両親やご家族のかたがた本当におめでとうございます。成長されたお子さまをご覧になって、さぞ、およろこびのことと存じますどうぞ、これからも暖かい目で見守ってあげていただきたいと存じます。

香典返しを寄付

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万五千円　中福良　岩穴口初男（父長夫）
五千円　錦江町　重水森吉（妻きみ）
五千円　高井田　福崎フミ（母山口マツ）
一万円　鶴ノ原　向江ヒサ子（母モソ）
一万円　西反土　内村一美（父精一）
一万円　江口団地　前畠早子（夫春美）
二万円　下新道　立石ハツ子（夫惣次郎）
四万円　永原　東己喜男（父精一）
五千円　新町　真鍋テル子（夫正円）
一万円　東汐入　堂免栄蔵（妻ヒデ）
五千円　下嶽　上村繁俊・文男（父悌吉）
五千円　新富町　松下兼孝（結婚記念）

＝町育英奨学資金へ＝

二千円　小山田　薗田孝一（村尾キワ）
五千円　永原　内村一美（父清一）
一万円　東汐入　堂免栄蔵（亡ヒデ）

十二月二十日までのご寄付を掲載しました。

門松　かどまつ

門松（かどまつ）を立てておくあいだを松の内といいます。関東では七日まで、関西では十五日までというのが一般の習慣です。この松のある間は、まだ正月気分がぬけきれないもののようです。

門松というのは、新年を祝って家の戸口や門前に立てる松のことですけれど、古い言い伝えによりますと、歳徳神の降臨を迎える、「聖なる立て木」ということだったようです。

聖なる木を山から運んでくるにもいろいろ礼式がありました。聖なる木は松とはかぎらず、山のいちばん年長の木から選んで運んできたといわれます。

松ときめられたのはずっと後のことで、葉の勢いと緑の濃さが年の初めの行事と結びついたもののようです。なお、門松は正月の飾りとして、松だけのものや竹を添えたもの、竹を主にしたものなどいろいろ工夫されています。

七草　ななくさ

七日は「ななくさ」。若菜の日ですが、本来「七草」というのは七種の草のことで、正月七日の朝七種の草を入れた七草がゆをたべると病気をしないという言い伝えがあって、古くからの年中行事でした。

初めは草でなく七つの穀物、つまり「いね、むぎ、まめ、あわ、あずき、きび、こむぎ」だったという説がありますが、鎌倉時代から七種の野菜や野草に変ったといわれています。

春の七草にもいろいろ説があるようですが、いまのところ「セリナズナ、ゴギョウ、ハコベ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ」の七種のようです。

これだけの草を手に入れるのは大変なことですから、せいぜいセリ、スズナ（だいこん）スズシロ（にんじん）を入れて召しあがってください。

町内の在宅医

【一月】

1日	大川医院	②2032
2日	大井病院	③2291
3日	平山医院	②2468
5日	玉利病院	②2328
12日	壱岐医院	②2222
15日	池田医院	②2220
19日	岩崎(昭)医院	②2315
26日	大川医院	②2032